

『地域ケア会議を通じたケアマネジメント支援』 ～行政・包括・居宅の連携を通じて～



兵庫県朝来市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 足立里江

(写真：兵庫県朝来市 指定文化財 国指定史跡竹田城跡)



現状と課題



システムづくり



支援の効果

もう、地域ケア会議に事例を出したくないです

行政の声

- 地域ケア会議関連の介護保険法改正 法第115条の48
平成27年4月～『地域ケア会議スタート！』

居宅ケアマネの声

包括に頼まれて地域ケア会議に事例を提出したら、大勢の専門職に囲まれ、まるで吊るし上げられたような気分になった。

包括職員の声

地域ケア会議を開催しなければならないので事例を確保するのが大変。

- 地域ケア会議の目的のひとつ

『**自立支援**に資する**ケアマネジメント支援**』

?

?

自立支援とは何か？

◇分析対象・平成23年度ケアマネジメント支援会議21事例
の検討内容

◇検討項目の整理カテゴリー

- ①問題の特徴（心身機能・活動・参加・個人特性）
- ②問題対処力 ③周囲との関係性 ④資源 ⑤意欲

●心身機能を重視した検討
は全体の38%のみ
主として
骨折・脳卒中直後の事例

●多くの事例の自立支援に、
特に必要だった項目は「問題
対処力」「周囲との関係性」
認知症・意欲喪失等の事例

●81%の事例で、ケアマネジャーが
本人・家族の「問題対処の力」に気づいた。

●本人・家族が、自身の抱える問題に向き合い、
それを解決していく『プロセス』を支援すること

ケアマネジement支援とは何か？

『単なる介護度改善（一時的な給付抑制）では、根本的な利用者の自立支援にはつながらず、結果的に困難ケースの潜在化・深刻化を生み出す恐れがある』

だからこそ・・・



- ケアマネジャーへの支援も、「ああしたらいい」「こうしたらうまくいく」等の意見やアドバイスだけではなく、ケアマネジャー自身が課題と向き合い、多角的に思考し、言語化していくプロセスを重要視する。
- 自らしっかりと考え導き出したものは、『応用可能』な実践力となる。

※真のケアマネジement機能向上は、将来、一時しのぎではない『コストコントロール』につながっていく。



現状と課題



システムづくり



支援の効果

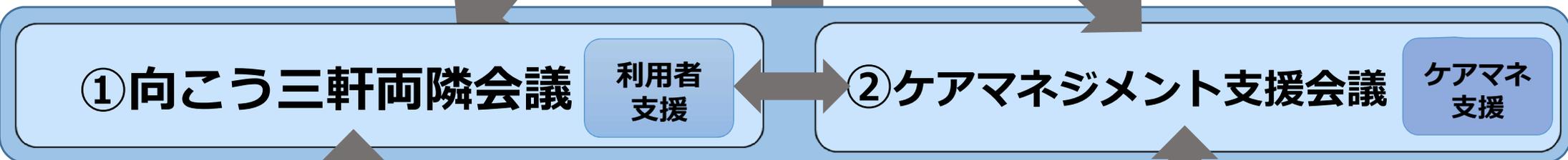
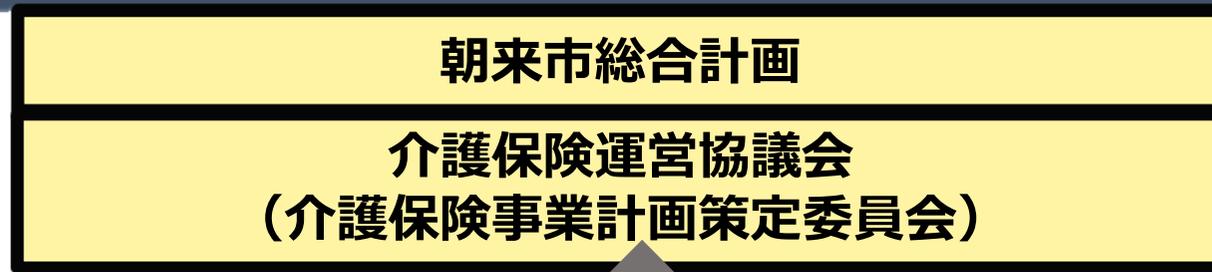
既存会議の機能を整理する

会議名	内 容	参集者	個別課題解決機能	ネットワーク構築機能	地域課題発見機能	地域づくり・資源開発機能	政策形成機能
①向こう三軒両隣会議	利用者支援	当事者・地域住民・関係機関等	◎ 対象者が抱える課題	◎ フォーマルとインフォーマルの連携	△ 困難ケースの蓄積	◎ 自助・互助を育む	×
②ケアマネジメンタ支援会議	ケアマネジメンタ支援	主任CM13名・理学療法士1名	◎ ケアマネジメンタが抱える課題	◎ 主任ケアマネジメンタとケアマネジメンタの関係性	△ 困難ケースの蓄積	◎ 指導マニュアル開発・研修会の開催等	×
③脳耕会	認知症支援策の検討	関係機関代表者 15名	×	△ 住民・専門職のネットワーク	○ ⑤からのオーダーによる検討	◎ 普及啓発等のツール開発 ケアパス作成	×
④在宅医療・介護連携会議	介護・医療の連携に関する仕組みづくり	医療・介護専門職（事業所代表者）25名	×	△ 介護・医療のネットワーク	○ ⑤からのオーダーによる検討	◎ 連携マニュアル作成等	×
⑤地域包括ケアシステム推進会議	地域課題の抽出・優先順位の決定・③④への指示	関係機関代表者 13名	×	△	◎ ①②から地域課題の抽出・決定	◎ ③④と連動しながら開発に向けた検討を	◎ 介護保険運営委員会への政策提言

地域ケア会議体制デザイン構築の留意点

1. 個別課題と地域課題を検討するテーブルを分ける。
2. 「本人・家族」の課題と「ケアマネジメント」の課題を検討するテーブルを分ける。
3. 「本人・家族」の課題検討は、地域住民と一緒にタイムリーに行う。
4. 「ケアマネジメント」の課題検討は、ケアマネジャーが吊し上げにあわない「場づくり」をする。（ケアプランチェックとは分ける）
5. 目的・内容・参集者の不一致を防ぐ。
6. 個別課題の集約から地域課題の検討につながる『道筋』を明確にする。

朝来市地域ケア会議体制デザイン図 VOL.6



地域の声を集める・共に考える

自治協・民生委員・住民・公民館・ミニデイ・ボランティア・学校・職能団体・警察・消防・企業…等

平成25年度～ケアマネジメント支援会議

《目的》

- ①一人ひとりのCMが、自立支援に資するケアマネジメントを利用者に提供できる
- ②CM自身の個別課題から、ケアマネジメントの課題を抽出し、資源開発につなげる



《枠組み》

- ①頻 度：包括主催月 1回 居宅主催月 1～2回
- ②事例選定：CMがケアプラン作成や支援に困難を感じている事例
- ③検討時間：1事例 70～90分程度
- ④参集者（包括主催時）：主任CM、PT、MSW、PSW
※スーパービジョンの基本姿勢を守れる職種（人）のみ



ケアマネジメント支援会議のルール

- 時期尚早の助言・アドバイスはしない。
- 非難・批判をしない。
- 自分の考える解決法や推測がより現実に即していたとしても、それを事例提供者に押し付けない。
- 情報が足りない部分は、検討者からの“質問”によって事例提供者へ問いかけていく。
- “質問”によって、利用者と利用者が抱える問題、事例提供者のひっかかりなどが、事例提供者自身の言葉で語られるプロセスを大切にする。
- 事例提供者に対して、クライアントへの相談援助面接と『同様の配慮』をする。

ケアマネジメント支援会議～包括と居宅の連動～

地域包括支援センター

事例の集約・分析へ

NO	1
要介護度	要介護1
年齢	73歳
性別	女性
病名	肺気腫
家族構成	独居
CMのひつ	

実施報告
シート提出

④

包括主催：年10回

①

居宅・主任CM15名

◆アセスメント力
◆部下や後輩へ
うまくかかわる力
◆カンファレンスを
運営する力

③

地域包括による
居宅介護支援事業
所巡回

各居宅主催
月1回以上

②

- 居宅介護支援事業所 11か所
- 居宅介護支援専門員数 36名



ケアマネジメント支援システムの成熟過程

環境整備



個別のサポート

第5期

事例の蓄積から
資源開発・環境整備

第4期

事業所の垣根を越えた
支援体制の確立

第3期

後輩へ指導する場面を設定する

第2期

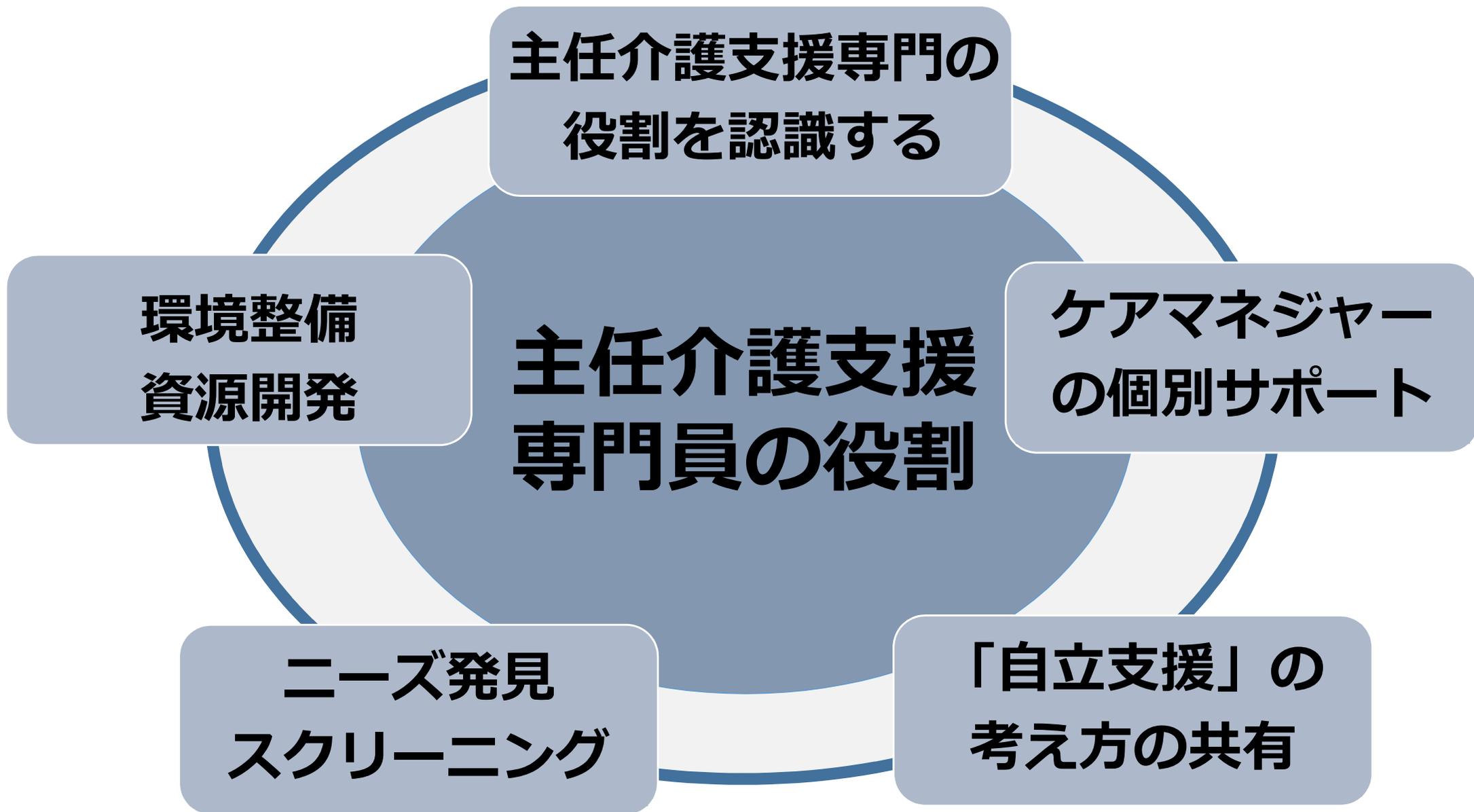
ケアマネジメント支援の必要性を共有する

第1期

主任ケアマネが共に学びあう



主任介護支援専門員の機能と役割を活かす





現状と課題



システムづくり



支援の効果

地域ケア会議・ケアマネジメント支援会議の効果

個別サポートとしての効果

ケアマネジメント支援会議が機能する（有効な場となる）ことにより、ケアマネジャーの課題解決力が上がり、ケアマネジメント機能の向上につながった。

居宅CMアンケートより

- 利用者を多面的に捉える事で様々なニーズが抽出できるようになった。
- 主任CMからの指導は、いつもの確なアドバイスがただ参考になった。
- また事例を出したいと思った。

主任CM意見交換より

- 定期的に居宅内で実施する事により実践力向上のための職場環境が整ってきた。
- 主任CMとしての役割が、居宅の中で明確になった。

地域ケア会議・ケアマネジメント支援会議の効果

環境整備としての効果

- 平成26年度末、ケアマネジメント支援会議を通じて、『多くの要援護者の薬管理が困難である』という地域課題がみえてきた。

平成26年度末、ケアマネジメント支援会議74事例の事例シートを分析したところ、糖尿病の悪化、脳梗塞の再発、認知症の進行等の背景に、共通して『薬管理の困難さ』が見られた。

ケアマネジャーの
担当者1,180人中

薬管理が困難な方
197人

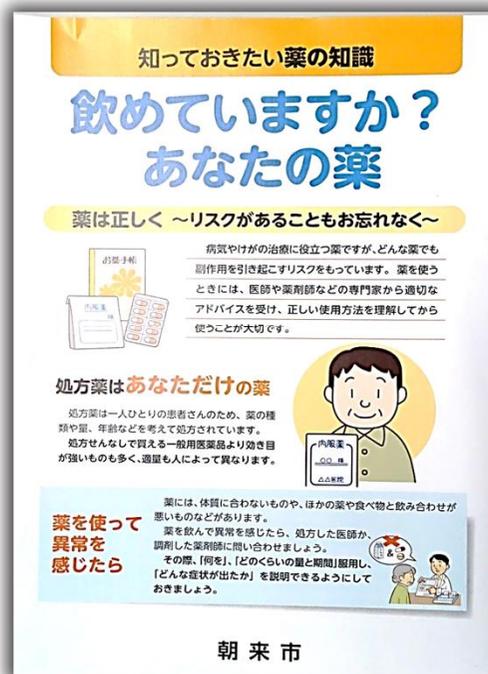
ケアマネジャーアンケートの結果

地域包括ケアシステム推進会議（中枢会議体）で
「地域課題」として指定

薬管理が困難な要援護者をどう支援するか？



薬管理研修会 3回/27年度



- ◆ 薬剤師を中心に作業部会を結成
- ◆ ケアプランに盛り込むアイデアを出し合い、薬管理リーフレットを作成

利用者のための課題解決へ・・・

専門職が、その『使命感』に突き動かされる場面がある

地域ケア会議・ケアマネジメント支援会議の効果

環境整備としての効果

- 平成27年度末、ケアマネジメント支援会議を通じて、『地域住民との連携に困難を感じているケアマネジャーが多い』というケアマネジメントの課題がみえてきた。

- 地域住民を『資源』としてみてしまうようで、すごく抵抗がある。
- どこまでが地域の社会資源なのか分からない。
- 住民間の境界やルール、権力等があり、どこから働きかけたらいいいのか戸惑う。

事例報告シートより抜粋

全担当事例のうち

近隣・地域とのかかわり
が必要と感じている事例
44%

ケアマネジャーアンケートの結果

地域包括ケアシステム推進会議（中枢会議体）へ
「ケアマネジメントの課題」として報告

ケアマネジャーが 地域とよりよく連携するための要素は何か？

朝来市ケアマネジャー協会
主任介護支援専門員委員会の
研究テーマに設定
『利用者の地域生活を支える
ケアマネジメントの要素』

朝来市・生野地域包括支援センター
平成28年度ケアマネジメント支援会議事例報告シート
この報告シートは、今後の業務改善・政策形成の参考資料とさせていただきます。ご協力をお願いします。

1 事例提供者の属性についてお答えください。
所属() 氏名() CM経験 約()年

要介護 性 家族構 成 事例テ マ 検討し た 思 っ た 点	項目
2 ケアマネ 要員に 対し	4 ケアマネジメント支援会議の視点について教えてください
	家族システムの 視点 口よりも意識して検討できた 口まままま意識して検討できた 口意識できなかった 口その他()
3 ケアマネ 要員に 対し	本人・家族の 対応力 口本人・家族の対応力を見つけることができた 口本人の対応力を見つけることができた 口家族の対応力を見つけることができた 口その他()
	地域アセス メントの 視点 口とても意識して検討できた 口意識できなかった 口意識できなかった 口その他()
1 問 題 の 特 徴	地域の対応 力 口民生委員の力を見つけることができた 口近隣の力を見つけることができた 口本人と地域の視点を発見することができた 口その他()
	5 ケアマネジメント支援会議を通じて、どのような気づき・ケアマネジャーとしての課題が明らかになりましたか？
2 シ ス テ ム に 関 連 性	自分で感じた気づきや課題 何故それを感じたか 何故今まで気づけなかったのか
	6 ケアマネジメント支援会議により、今後新たに必要だと感じた「資源」や「見える仕組み」はどのようなものですか？あればご記入ください。
3 コ ー に 対 し	必要だと感じた「資源」や「見える仕組み」の具体例
4 熱 心	フォー マ ル な 支 援
5 問 題	インフ ォ ー マ ル な 支 援

記入日：平成28年 月 日

- ◆ 研修会の開催
3回／28年度
- ◆ 事例報告シートの内容に、「地域アセスメント」の項目を加え意識づけと評価を実施

『ご本人の豊かな暮らしとは何か？』『なじみの関係性とは何か？』
『自立支援』の意味と価値が共有できているからこそ、
ケアマネジャーは、新しい分野にも挑戦できる。

地域ケア会議・ケアマネジメント支援会議の効果

- ケアマネジメント支援会議を通じて、『地域課題』や『ケアマネジメント課題』の重要性が見えてきた。
- 包括と居宅主任ケアマネジャーの協働により、『地域課題の発見』から『資源開発』を可能とする“システムづくり”と“人材育成”が、同時並行的に取り組めるようになった。
- これらは、行政にとっても、より効果的な施策運営をするうえで有効な手立てとなる。
(行政だけで旗を振っていてもできなかったこと)

とはいえ・・・地域には様々な課題が山積



平成27年度 市民フォーラム217名の声
「買い物に困る」「危なくとも運転免許が手放せない」・・・等

平成28年度 朝来市高齢者の地域課題

深刻性が高い（命に直結する）

認知症高齢者の一人歩き・行方不明

認知症の周辺症状

生活困窮

自動車運転が危ない

受診が困難

災害支援体制

介護負担が大きい

広範性が高い

要介護認定率の上昇

広範性が低い

認知症の早期発見

社会的孤立

買い物が困難

身寄りのないターミナルケースの金銭・財産管理

在宅療養ノートが複数あり混乱する

相談窓口の複雑さ

深刻性が低い（命には直結しない）

まとめ



- 朝来市では、まず、行政・包括・ケアマネジャーが、『自立支援』と『ケアマネジメント支援』の意味を、共有するところからスタートした。
- 今後は、さらに、専門職と地域住民が共に考え、アイデアを共有できるような体制にしていきたい。
- 地域ケア会議は、そのような『場』を作るための有効な手段になると考えている。

地域ケア会議をひとつの手段として未来を育む

参考文献

- 渡部律子著 『高齢者援助における相談面接の理論と実際』 中央法規出版
- 渡部律子著 『人間行動理解で磨くケアマネジメント実践力』 中央法規出版
- 渡部律子著 『基礎から学ぶ気づきの事例検討会』 中央法規出版
- 奥川幸子著 『身体知と言語』 中央法規出版
- 上原久著 『ケア会議の技術2』 中央法規出版
- 兵庫県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員研修共通シラバス
- 地域包括支援センター業務マニュアル 長寿社会開発センター
- ソフィア ブトゥリム著 『ソーシャルワークとは何かーその本質と機能ー』 川島書店
- 運営マニュアル検討委員会 『地域包括支援センター運営マニュアル』 長寿社会開発センター
- 足立里江 共著 『多職種連携』 中央法規出版
- 足立里江 共著 『援助関係の軌跡』（月刊ケアマネジャー2014連載）中央法規
- 足立里江 共著 『地域ケア会議運営ハンドブック』 長寿社会開発センター
- 足立里江 著 『地域ケア会議サクセスガイド』 メディカ出版
- 足立里江 著 隔月誌 医療と介護Next 『地域ケア会議で未来を育む』 メディカ出版
2015年第1号～6号
- 足立里江 著 隔月誌 医療と介護Next 『地域ぐるみのケアマネジメント支援』
メディカ出版 2016年～連載中